
僕ノート。

ランベル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕ノート。

【Nコード】

N7255H

【作者名】

ランベル

【あらすじ】

普通の高校生、杉浦麗太の学園生活が舞台。今まではなんにも楽しみがなかった学校生活。高校最後の一年を舞台に繰り広げられるストーリー。

ページ1 違い（前書き）

スキマスイッチの、「ボクノート。」とは無関係です。

ページ1 違い

はじめまして。

僕の名前は、杉浦麗太。

至って普通の高校生です。

毎日、学校へ行って、勉強して帰る。

これがローテーションの日々だ。

勉強もスポーツもいたって普通。

こんな毎日に、僕は楽しさを求めようとは思わない。

しかし、こんな僕にも唯一楽しみがある。

その楽しみに使う道具は、シャープペンとノート。

ただこれだけである。

えっ？

これで何をするかって？

勉強？

違う違う。

まあその答えは、この後の小説を読んでよ。

じゃー！また後で。

「フア~~~~ア」

杉浦麗太はいつものように通学路を歩いていた。

すると、背後から誰かが走って来て、麗太の背中をポンツと叩いた。

「おっはよ！杉ちゃん！」

「おーすっ、江崎」

叩いてきたのは同じクラスの江崎恭介だった。

「お前ドラ○エどこまで進んだ？」

「ん？ああ、結構進んだぜ。それより、あんまのんびりしてらんねーぞ」

江崎は腕時計を見ながら言った。麗太も時計を見てヤバイと思った。

「ゲッ！もう10分前じゃねーか！？急ごーぜ」

その日、俺はいつもと何かが違う気がした…

「ハア ハア

ハア ま、間に合った…」

何とか俺達はギリギリセーフで済んだ。

すると、机に伸びてる俺の所に学級委員長の瀧澤美夜がよって来た。

「……………？」

「珍しいね、麗太君がこんなギリギリに来るなんて」（ホント、俺もそう思います…《泣》）

普段、麗太は美夜とはあまり話す事が無いので麗太はびっくりしていた。

《キーンコーンカーンコーン…》

チャイムが鳴った。

「あつ！鳴っちゃった、じゃあ麗太君また後でね♪」

「えっ！？あつはい…」

（また後でね♪…？）

チャイムが鳴り終わると担任が入って来た。

ページ1 違い（後書き）

どうでしたか？まだまだ不慣れで文が雑かもしれませんが今後頑張るのでよろしく願います。

感想お願いします♪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7255h/>

僕ノート。

2010年12月7日15時06分発行